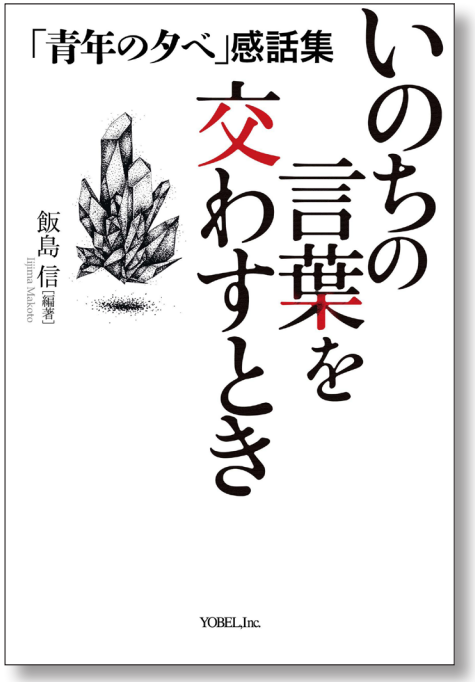
飯島 信［篇著］
日本基督教団 小高伝道所（浪江伝道所兼務）牧師

いのちの言葉を交わすとき
――「青年の夕べ」感話集

35th Anniversary Yobel, Inc. since 1987

**友を信じるから、ありのままの私を、
嘘のない思いを、そっと差し出せる。**

10 月 30 日刊行予定



説教でもなく、証しでもなく、講演、研究発表、報告会でもない。聴きたかったのはありのままの声、あるがままの生。 東京西部にある教会に集った青年たちが、その「生」の現場から信仰者としての自身の〈リアル〉を語り、友らによって丁寧に傾聴された、貴重な記録。

刊行の言葉
生を課題として生きる ―― 序に代えて　飯島　信

1　謙遜は体に悪い　一木　真
2　「隣人を自分のように愛しなさい」とは？　阿部詩音
3　自分らしさと自分の十字架　濵田香苗
4　存　在　光永　豊
5　25 歳のリアルと神の国の実現　湯田大貴
6　自分を知るということ　林　友実
7　尊重と正義　江村悠子
8　労苦を通して主を知る　諏訪園 ジェイク実
9　バランスをとらない　髙橋紀渚
10　出会いと祈り　藤田琴子
11　等身大の自分を生きるために　江川裕士
12　境界を越えて　植松真琴
13　恐れと力の福音　湯田大貴
14　傷、癒し、赦しについて　阿部詩音
15　ほんとうに求めたい道　すずき りさ

あとがき
資料 1「青年の夕べ」感話集の記録
資料 2「キリスト教の深いこの世性」と教会に想う　飯島　信

編著者略歴：飯島　信（いいじま・まこと）
1948 年東京に生まれる。「暗い世に曙を告げる人材を神によって育むことを使命とする」日本バプテスト連盟 大井バプテスト教会附属あけぼの幼稚園で幼児期を過ごす。国際基督教大学入学。70 年代の大学闘争・教会闘争を闘い、敗北。基督教共助会と出会う。1978 年東京都公立中学校教員（社会科）となり、最後の 6 年間は特別支援学級（知的障がい）を担当する。定年退職後、NCC（日本キリスト教協議会）総幹事、日本基督教団 東日本大震災救援対策本部担当幹事として働き、現在に至る。
2022 年 4 月より、日本基督教団 小高伝道所（浪江伝道所兼務）牧師。

四六判・204 頁・定価 1,540 円 税込
本体 1400 円＋税 ISBN978-4-909871-62-6 C0016

ヨベル Yobel Inc.　〒 113-0033　東京都文京区本郷 4 - 1 - 1　T 03-3818-4851　F 03-3818-4858